



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)高橋 義美 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,259	5.1	990	4.1	998	2.0	669	3.8
2020年3月期第3四半期	7,859	1.9	951	6.8	979	7.7	645	4.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 841百万円(9.4%) 2020年3月期第3四半期 769百万円(31.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	208.71	—
2020年3月期第3四半期	197.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,707	13,083	72.7
2020年3月期	17,408	13,033	73.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,878百万円 2020年3月期 12,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	3.0	1,290	24.3	1,330	23.7	880	19.8	257.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	3,420,000株	2020年3月期	3,420,000株
2021年3月期3Q	349,728株	2020年3月期	157,276株
2021年3月期3Q	3,208,143株	2020年3月期3Q	3,269,471株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、COVID-19感染拡大により停滞していた経済活動も徐々に活動再開され持ち直しの動きがみられたものの、病床のひっ迫等により景気は厳しい状況で推移しました。

このような環境のもと当社グループは、徹底した感染防止策を講じつつ引き続き営業力の強化に注力するとともに、医療・介護・福祉等の現場で、蓄積した各種ノウハウを活用し、多様化する顧客ニーズに即した迅速な対応に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は8,259百万円（前年同四半期比5.1%増）、連結営業利益は990百万円（前年同四半期比4.1%増）、連結経常利益は998百万円（前年同四半期比2.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は669百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、COVID-19が世界規模で発生し、医療機関の外来・入院・手術・検査等が減少し、医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量に影響を及ぼしました。このような環境のもと、COVID-19の感染症対策商材の拡販に注力してまいりました。また、原価を意識した製品価格の見直しや、ランニングコスト全般の経費効率化に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は2,402百万円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント利益は295百万円（前年同四半期比29.4%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、医療需要の伸びが顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）が順調に推移したほか、自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）」が、市場への浸透と新規顧客の獲得に貢献いたしました。また、次世代ヘルスケアとして、情報通信機器を用いた様々な医療サービスが期待される中、医療従事者と患者様の新しい懸け橋として、また、医師不足や遠隔地等、急速に高まる医療需要への対応として「オンライン診療システム」の提供を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は3,623百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益は408百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療用ガス設備工事、メンテナンスと医療機関への消火設備工事の施工管理を行っておりますが、医療用ガス設備工事は、建築計画の縮小・延期があり昨年並み、消火設備工事においては、補助金事業開始から6年が経過し該当物件が減少傾向、またCOVID-19感染防止のため医療機関への訪問が限られメンテナンスの延期・中止により事業環境は厳しい状況で推移しました。

これらの結果、売上高は598百万円（前年同四半期比10.2%増）、セグメント利益は63百万円（前年同四半期比25.0%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動が奏功し、レンタル売上が順調に推移いたしました。また、訪問看護事業所は、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）の3拠点を事業基盤として、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実が奏功し、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は607百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は103百万円（前年同四半期比128.0%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）は、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携、徹底したCOVID-19の感染拡大防止と状況に応じた付加価値サービスの提供を進め、あわせて、人材の確保・育成体制の強化に注力いたしました。また、入居者様の多様化を把握したうえで、入居者様、ご家族様へ「安心」と「安全」をお届けし、入居率の向上に努めました。また、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ 王子」（東京都北区）は、地元に着目したサービスの提供と顧客ニーズの多様化に応じ、稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は271百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比357.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は17,707百万円(前連結会計年度末比298百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金が93百万円、たな卸資産が178百万円、有形固定資産が59百万円、投資有価証券が141百万円増加し、受取手形及び売掛金が225百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は4,624百万円(前連結会計年度末比248百万円増)となりました。これは主に、流動負債その他のうち、未払費用が89百万円、リース債務が75百万円、固定負債その他のうち、リース債務が61百万円、預り入居一時金が60百万円増加し、未払法人税等が40百万円、賞与引当金が44百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は13,083百万円(前連結会計年度末比50百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払い等により利益剰余金が506百万円、その他有価証券評価差額金が155百万円増加したこと、及び、公開買付けによる取得により自己株式が628百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年5月29日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,437,834	7,531,408
受取手形及び売掛金	2,302,568	2,076,587
たな卸資産	110,283	289,093
その他	92,363	136,605
貸倒引当金	△4,985	△1,724
流動資産合計	9,938,063	10,031,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,076,725	1,010,448
土地	3,323,904	3,261,037
その他(純額)	1,235,187	1,424,231
有形固定資産合計	5,635,816	5,695,717
無形固定資産		
投資その他の資産	16,781	9,543
投資有価証券	862,421	1,003,483
その他	957,515	968,771
貸倒引当金	△1,781	△1,766
投資その他の資産合計	1,818,155	1,970,488
固定資産合計	7,470,754	7,675,749
資産合計	17,408,817	17,707,719
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,822,412	1,807,602
未払法人税等	200,213	159,954
賞与引当金	115,836	71,800
その他	1,015,628	1,220,988
流動負債合計	3,154,090	3,260,345
固定負債		
役員退職慰労引当金	737,580	757,770
長期預り保証金	5,203	5,145
その他	478,803	601,108
固定負債合計	1,221,586	1,364,023
負債合計	4,375,677	4,624,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	12,048,418	12,554,867
自己株式	△359,474	△987,846
株主資本合計	12,638,831	12,516,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,755	304,456
退職給付に係る調整累計額	46,506	56,902
その他の包括利益累計額合計	195,261	361,358
非支配株主持分	199,047	205,083
純資産合計	13,033,140	13,083,350
負債純資産合計	17,408,817	17,707,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	7,859,674	8,259,550
売上原価	3,731,951	4,033,904
売上総利益	4,127,723	4,225,645
販売費及び一般管理費	3,176,566	3,235,179
営業利益	951,157	990,466
営業外収益		
受取利息	2,110	2,029
受取配当金	16,743	15,501
受取保険金	8,349	2,020
受取家賃	6,686	7,663
仕入割引	2,262	3,789
その他	2,560	6,343
営業外収益合計	38,712	37,348
営業外費用		
支払利息	6,540	3,796
災害による損失	—	2,200
自己株式取得費用	—	21,329
その他	3,789	1,538
営業外費用合計	10,330	28,865
経常利益	979,539	998,949
特別利益		
固定資産売却益	—	27,230
資産除去債務戻入益	18,704	—
その他	74	—
特別利益合計	18,778	27,230
特別損失		
固定資産売却損	421	14,702
固定資産除却損	32,938	19,370
ゴルフ会員権評価損	9,550	—
投資有価証券売却損	—	1,061
特別損失合計	42,909	35,134
税金等調整前四半期純利益	955,408	991,046
法人税等	306,231	317,733
四半期純利益	649,177	673,312
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,855	3,726
親会社株主に帰属する四半期純利益	645,321	669,585

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	649,177	673,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,388	157,672
退職給付に係る調整額	△5,376	10,733
その他の包括利益合計	120,011	168,406
四半期包括利益	769,188	841,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	764,968	835,683
非支配株主に係る四半期包括利益	4,219	6,035

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年8月25日開催の取締役会決議に基づき、2020年10月16日付で、自己株式192,400株の公開買付けを実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が628,186千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が987,846千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,516,809	3,403,562	542,823	536,855	253,273	7,253,324	606,349	7,859,674
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	74,956	—	—	74,956	—	74,956
計	2,516,809	3,403,562	617,779	536,855	253,273	7,328,280	606,349	7,934,630
セグメント利益	228,655	520,124	85,172	45,392	3,900	883,245	67,911	951,157

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	883,245
「その他」の区分の利益	67,911
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	951,157

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,402,492	3,623,026	598,339	607,858	271,579	7,503,296	756,253	8,259,550
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	65,913	—	—	65,913	—	65,913
計	2,402,492	3,623,026	664,252	607,858	271,579	7,569,209	756,253	8,325,463
セグメント利益	295,980	408,860	63,909	103,511	17,844	890,105	100,360	990,466

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	890,105
「その他」の区分の利益	100,360
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	990,466

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。